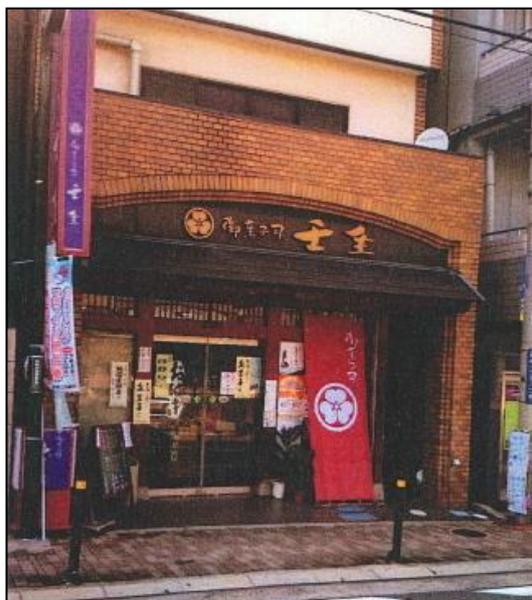


御菓子司壬生

大阪府大東市



店舗概要

創業年 1967年(昭和42年)
売場面積 18㎡(5.45坪)
従業員 3.75人
営業時間 9:00~19:00
定休日 火曜日
売上高 19,280(千円)

商品構成

観音雀 25.0% / 栗みかさ 25.0%
朝生菓子 25.0% / その他 25.0%

経営方針

- ・一品一品手作りにこだわる
- ・地元を大切に、地域に愛される店舗運営

高齢者から若者まで地元の顧客に親しまれる和菓子店

野崎観音近くと駅前という好立地にある和菓子店。

野崎観音とは曹洞宗のお寺で、本尊の観世音菩薩にちなみそう呼ばれ親しまれている。参拝客が多いことから主な客層は50~60代であり、看板商品の『観音雀』が根強い人気を誇っている。目線の低い位置に商品を配置したり低い椅子を店内に設置する店作りは、高齢者への配慮であり地域コミュニティの場としての役割を担っている。

一方、同地域には学校が多数あるため学生客も多く、夏には冷蔵ケースに並べられたシャーベットやゼリーがよく売れる。バレンタイン用和菓子として商品化した『チョコはぶたい』も定番となった。年間4~5品生み出される新商品は、所属する菓子研究団体や洋菓子業者との交流及び市場の情報収集からヒントを得たものである。

野崎観音から参拝客向け品依頼を初めとし、地域の老人会や学校の贈答品受注も多い。こうした地元への認知度も高いため、道の駅や百貨店へ出品の引き合いもあるが一切行っていない。理由は、卸売をするためには機械化による量産体制が必要だからである。当店では機械化は好まず、一つ一つ店内で手作りという付加価値を付けることを大事としている

